

連絡会 ニュース

第8号

配布用
拡大版

2019年5月 春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会

新入生のみなさん、ようこそ学童保育へ！ 春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会です。

新入生のみなさん、そして保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。そして学童保育へようこそ！

「春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会（略称：連絡会）」は、子どもたちの放課後の生活をより楽しく有意義なものにするために活動する事を目的として、2008年2月に発足しました。学童保育に関する情報交換や意見交換、市への要望などを行っています。

ここでは、なぜそのような組織が必要とされるのか、春日部の学童保育の実情と併せてご説明します。新入生だけではなく上級生の保護者の方にも、ぜひお読みくださり、お子さんの学童保育での生活をより充実したものとするために、ご協力をお願いします。



まずは、「学童保育」の現状について、ご理解ください！

父母の運動により改善されてきた学童保育

<全国・埼玉県>

- 1967年 全国学童保育連絡協議会発足
- 1998年 法制化(児童福祉法改正)
「親たちが勝手にやっている事業」から
「行政が責任を持って行うべき事業」へ。
- 2004年 埼玉県「運営基準」(全国初)
- 2007年 厚労省「ガイドライン」
- 2015年 児童福祉法改正
子ども・子育て新システム

<春日部市>

- 1967年 大畑に「共同保育の会」発足
(春日部初の学童保育)
その後各地域にも広がる
(父母が運営)
- 1998年 市内全小学校に公設学童設置
入室希望が急増
・教室→プレハブ
・プレハブ増設
- 2015年 条例改正 対象が6年生までに
- 2019年 条例改正 保育料値上げ、開設時間延長

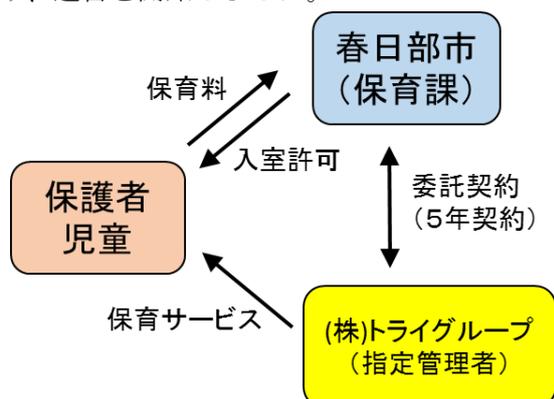
「作り」運動の時代

「増設」運動の時代

保育の「質」を問う時代

誰が運営しているの？

春日部市の放課後児童クラブは、**指定管理者制度**の下で**市が指定先を選定**して契約を結び、運営を委託します。H31年度からは**(株)トライグループ**が指定を受け、運営を開始しました。



春日部市の放課後児童クラブは、保育を必要とする父母が集会所などを借りて自主運営でスタートしました。父母たちの運動による行政への働きかけが力となり、プレハブ施設の確保や補助金の拡充など、徐々に環境が整ってきました。1998年に、各小学校内に公設の放課後児童クラブが設置されました。運営は、春日部市福祉公社から春日部市社会福祉協議会へと引き継がれ、非営利団体による運営が20年間続いてきましたが、2018年の指定先公募により新たに(株)トライグループが指定を受け、この4月から、初めて民間企業による運営が行われる事になりました。

非営利団体から民間企業へ・・・学童に起きた激変！

春日部市は昨年、20年間に渡って放課後児童クラブの運営を任せてきた社会福祉協議会ではなく、民間企業の(株)トライグループを指定先に選定しました。私たち父母は、社会福祉協議会への継続指定を望んで、一昨年に2832筆の署名を集め、市に提出していましたが、その願いは叶えられませんでした。私たちがなぜ、民間企業では無く社協への指定を望んだのか、その理由は次の通りです。

①利益を出してはいけない社協と、利益を出さなければいけない企業

社協は非営利団体のため、必要以上に黒字を重ねる事は問題視されます。それに比べ民間企業は利益を出さなければ存続できません。ここ数年の社協による経営は赤字。指導員が集まらない「欠員状態」が続いていたため、指導員の給与を引き上げましたが、欠員は続き、春日部市からの補填もありませんでした。同じ条件で委託した場合、企業としては黒字にするために経費を削るしかありません。運営経費の90%以上が人件費です。それを節約するという事になれば、保育の質の低下が避けられません。

②指導員は全員解雇。再雇用されても「新人扱い」の部分が・・・

社協の撤退により、社協職員だった指導員は全員解雇です。希望者はトライに再雇用の道がありましたが、有給休暇は新人扱い。トライは翌月給のため、4月は無給で働かなければならないというピンチ。結局、給与は現状を維持できましたが、70人近くいた常勤指導員のうち、トライに移ったのは52人でした。

③各地で民間企業が公設学童の運営に参入。「保育の質が落ちた」という事例が多数！

ここ数年、各地で公設学童保育の指定先として民間企業が次々に参入しており、県内でも所沢、川口、新座、白岡などで企業による運営が増えています。しかし、「連絡帳が無くなった」「子どもの様子が伝わっていない」「指導員が遊んでくれない」など、不満や不安の声が多数聞かれ、埼玉県学童保育連絡協議会の会議でも、企業参入による弊害が問題視されています。

④実際どうなのか・・・欠員状態は悪化、指導員の研修は削られ、父母会行事への協力は限定！

昨年の父母への説明会で保育課長は「トライに指定すれば指導員の欠員は解消する」と説明し、父母を納得させました。しかし現実には、過去最悪の欠員となっています。他にも、社協時代には認められていた休日の研修参加や父母会への協力などが、原則認められないなど、保育の質の低下は明白です。市議会に於いて「当然、保育の質は下げない」と答弁したはずですが、現実には全く守られていません。

私たち父母の力で市の責任を追及し、子どもたちの居場所を守りましょう！

連絡会の活動は皆様の協賛金で賄われています。

この様なニュースやお知らせの印刷と配布、会議のための会場費や保育費、情報収集や研修への参加費など、連絡会の活動は、賛同する皆様から頂戴した協賛金で賄われています。

協賛金は、お1人あたり年間1000円を上限とした任意の額をお願いしています。現役父母の皆さんや父母会単位での協賛金も受け付けます。ぜひご協力をお願いします。

<協賛金のお支払い方法>

下記の口座にお振込みください。金額は任意です。

※お振込み手数料はご負担ください。

さいしん(埼玉県信用金庫)春日部西口支店
普通 3335941

(名義:春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会 山岸あさ美)

振込人名はクラブ名(例)カミオキジドウクラブ

または個人名で(例)ドイミキオ

個人の場合:上限1000円/年

父母会単位の場合:上限3000円/年

※個人でご協賛の方は、メールまたはFAXでお名前とご住所をお知らせください。総会資料をお送りします。

E-mail:kadoi@ltj.co.jp FAX:048-610-8733 土井

<お知らせ>

放課後児童クラブ父母会連絡会 総会

2019年5月19日(日)10:00~12:00

会場:市民活動センター(ふれあいキューブ)4階会議室1

総会議事:活動報告、会計報告、
活動計画、予算、他

保育室あります!

どなたでも参加できますので、ぜひお誘い合せの上ご参加ください。